

カリキュラムポリシー

芸術学部

1. 「芸術の力」の探究

素材や技法を前にして潜在する可能性を見出す驚き、創造の根源に存する生命からの発揚力、目の前の活動に自らを賭け、没入することで引き出される創作意欲と能力、相互の発信と実際行動を通じて開かれたコミュニティーを構築する能力の養成を通じて、自らの思考力を高めて自律的に人間の本来持つ創造性を探究するためのカリキュラムを編成する。

2. 教養教育と専門教育のバランスと思考力育成

広義の芸術学と教養教育（リベラル・アーツ）とが普遍的な学知を探究する学問であるという特徴を共有するとの認識に立ち、教養教育と専門教育の両面において思考力育成を重視した教育体制を整備する。

3. キャリア教育の位置づけ

多岐にわたる学生の進路に応じ、広く就業力、学士力と呼ばれる汎用的能力や自己有用感や生涯学習への意欲等の学生の情意面の充実に力を入れた指導を行う。また、広く世界の社会事象、文化事象に批判力を向けた上で、活動成果を情報発信する情報リテラシー教育においても科目群の充実を図る。

4. 地域連携教育の充実

本学の立地する京都、嵯峨の豊かな歴史的、文化的資産から美意識やデザインの本質を理論的に学びつつ、地域からデザイン・モチーフや研究テーマを発掘し、地域性を超えた普遍的価値の創造をめざす地域連携教育を展開する。

5. 学生による主体的な学習構築を可能とする柔軟な履修制度

従来特定専門領域に閉じられていた学びのうち、他領域の学生との共有が可能な学びを「オープン演習」という選択科目枠で提供することで、学生が単一の専門領域に視野を限定せず、履修プランを自律的に構築できる柔軟性あるカリキュラム制度を運用する。

大学院

高度な専門性をもって芸術文化の領域で活躍する人材を育成するために、専門分野における研究を深める基幹科目と、専門性を実践的に拡充するための展開科目による、構築的なカリキュラムを編成する。

各科目区分に下記の修了要件を設定し、科目編成を行う。

| 科目区分 | | 必修単位数 | 修了要件単位数 |
|------|--------|---|---------|
| 基幹科目 | 選択科目 | 8 単位以上 ※3 分野(造形絵画分野・造形複合分野・デザイン分野)からそれぞれ2 単位以上必修 | 32 単位以上 |
| | 選択必修科目 | 8 単位 | |
| | 必修科目 | 8 単位 | |
| 展開科目 | 選択科目 | 8 単位以上 | |

短期大学部

現代に生きる社会人としての基礎的な教養と、芸術文化に対する広い視野を持って社会に貢献できる専門的素養を身に付けるために、段階的に学べるカリキュラムを構成する。